

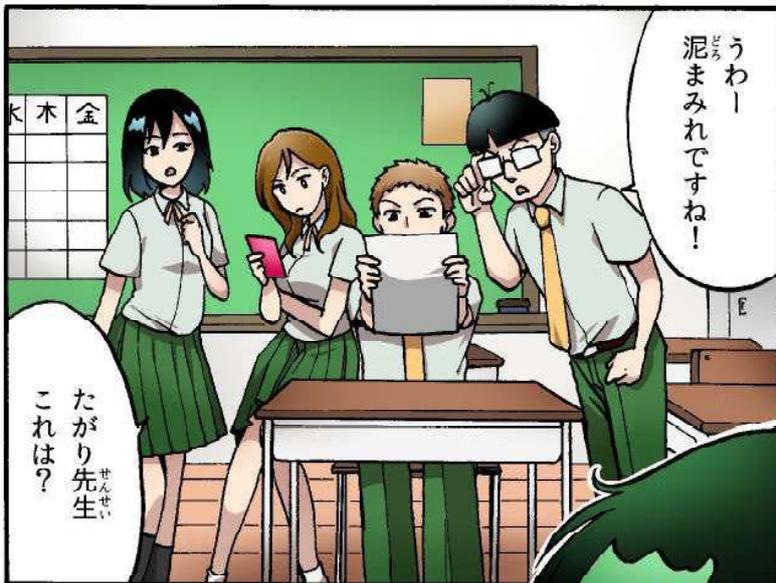
市長定例記者会見資料

平成29年5月30日

部 課 名	政策推進部 施設マネジメント課	電 話	22-8202
課 長	中村 和久	担 当 者	山本 晋也
1. 件 名	公共施設再配置の取り組みに関する啓発用マンガ冊子の作成について		
2. 目 的	平成27年8月に策定した「周南市公共施設再配置計画」に基づき、取り組んでいる公共施設再配置に関する取り組みについて、わかりやすく、より効果的に市民の皆さまへアピールするために、内容を簡潔にまとめたマンガを作成しました。		
3. 日 時	「市広報しゅうなん（平成29年5月1日号）」と一緒に市内の全戸に対して配布。		
4. 場 所	<ul style="list-style-type: none">・市内の全戸に配布（配布数：58,100部）・支所、公民館、コミュニティセンターなど市内約50施設に配置・周南市ホームページへ掲載		
5. 制 作	委託先：Y I C キャリアデザイン専門学校		
6. 内 容	公共施設白書、公共施設再配置計画の内容についての啓発用マンガ冊子を作成しておりますが、今回のマンガはその続編で第3弾にあたるものです。		
7. そ の 他	別添のマンガ冊子のとおり		

マンガで分かる!

こうきょうしせつ
公共施設
さいはいちと
再配置の取り組み



たがり先生
これは?

うわー
泥まみれですね!



どろ泥んこ
祭り?
in長穂



300人以上が来場し
楽しめる夏のイベントです!

長穂地域の
休耕田を使い
バレーや
こども向け競技まで

どろ泥んこ祭り
in長穂

おしえたがり
きょうおしえ
教江たがり先生



ではまず周南市での取り組みについて教えてください！

今ある公共施設を全て維持しようとすると今後40年間で五八八六億円が必要

厳しい財政状況を考慮すると約30%にあたる一七六六億円が不足する試算

不足額の解消の為に「公共施設再配置計画」を平成27年8月に策定

前回までのおさらいですね！

5886億

そしてこの再配置計画は市と市民が情報を共有し実践する取り組みが重要です

中山間
市街地
周辺部
周南市

面積が広大で多種多様な環境を持つ周南市ではそれぞれの地域に合った方法でみんなが一緒に考えることが大切です

他にも『施設分類別計画』を順次策定したり

施設の長寿化に向けた計画の策定に取組んでいますね

『長寿化に向けた計画』
・長期修繕計画(ハコモノ)
・長寿命化計画(インフラ)

『施設分類別計画』
・施設の種類ごとに各施設の取扱いや優先度、方向性について定めた計画

取扱い 優先度 方向性

PLAN

はしもりたい しゅうニヤン橋守隊...?

このように様々な取り組みを進めています。が地域の皆さんと共に行っているという点では「しゅうニヤン橋守隊」があります！

橋の簡易点検
不具合の早期発見

排水機能の確保
水抜ききの復旧

橋に溜まった土砂やゴミの撤去
劣化抑制

しゅうニャン橋守隊

「しゅうニャン橋守隊」になっただですよ

もともと市の職員が
結成した「橋守隊」が
発展して専門家が
学生・地域の皆さんが
参加するようになり、

エイプリルフールのジョーク動画
しゅうニャンに
なっかた!!

市長緊急会見
驚くべき内容

しゅうニャン
橋守隊

それにあやかり、キャッチーな名前に⇒

そ...それは大変よ!

確かに橋とか道路とか
当たり前のものが
使えなくなると...

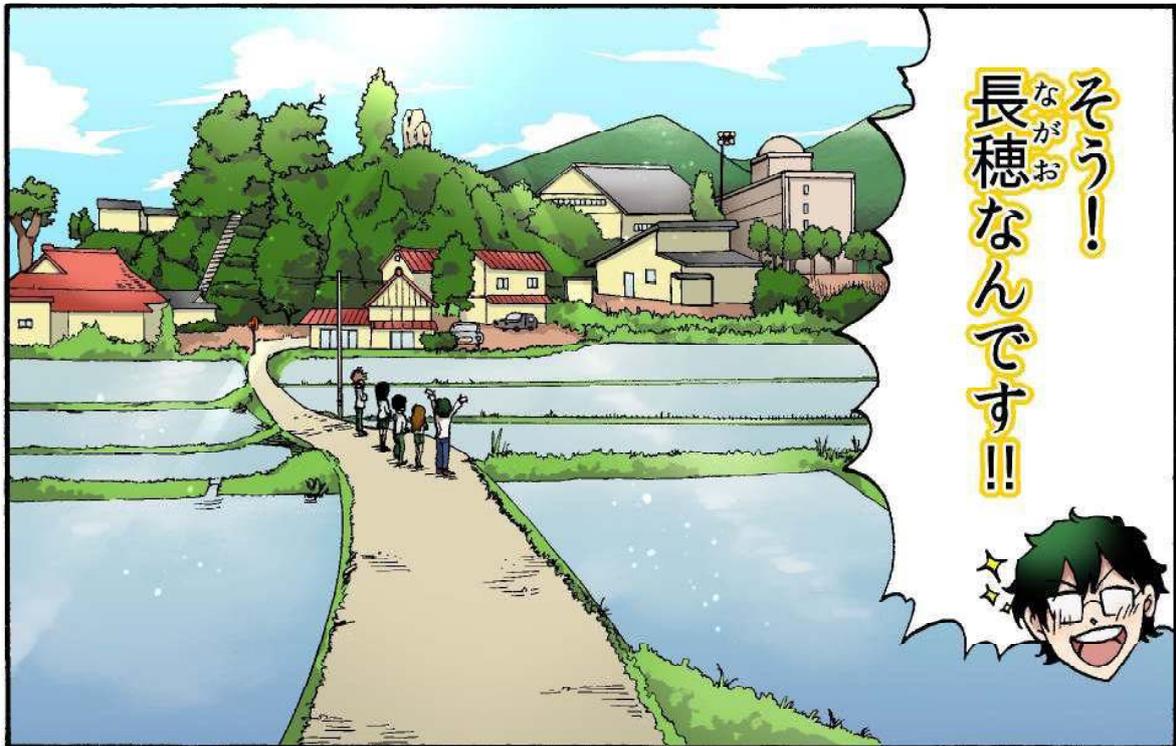
当たり前を当たり前
提供してくれる橋への愛着と
大切に共に守るという意識が
めばえる事に繋がります



特に橋を守る為の
啓発活動に地域の皆さんが
参加することによって



しゅうニャン橋守隊の取り組み
によって橋の機能が確保され、
劣化の抑制や不具合を
早期に発見・修繕することで、
長寿命化が図られます



①老朽化している(築45年)

②耐震性がない

③土砂災害の恐れ(土砂災害特別警戒区域)に建っている

地域の拠点となる施設のうち、長穂支所と和田支所は

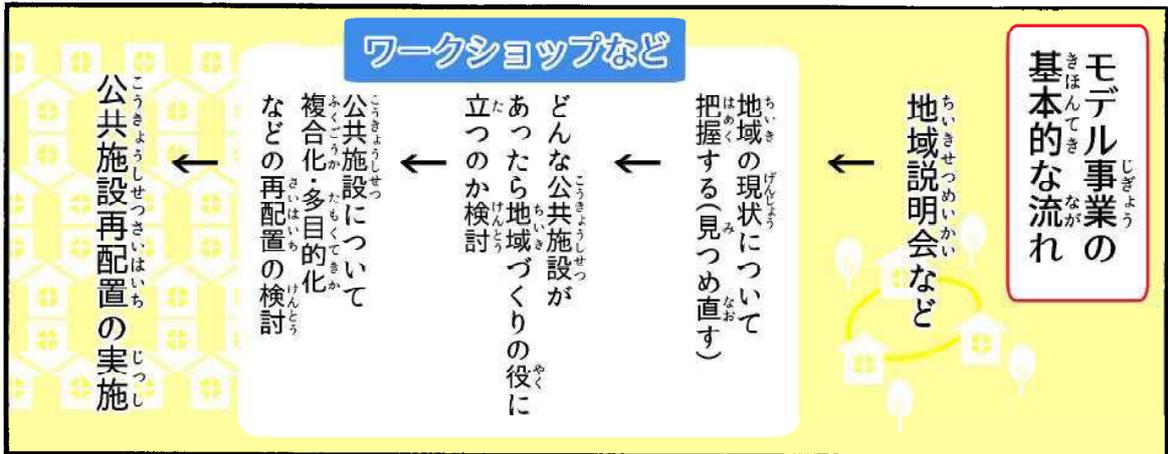
①老朽化している

②耐震性がない

③土砂災害特別警戒区域に指定されている

の3つに該当するため公共施設再配置のモデルとして選ばれたんですよ

※和田支所については、平成29年度から取り組む予定です



長穂地域の皆様、地域の皆さんと市職員が

①公共施設老朽化の問題について共通の認識を持ち

②地域の現状を把握したうえで

③地域の皆さんにとって利便性が高く愛着が持てる公共施設になるように

④「共に」考えているんですよ

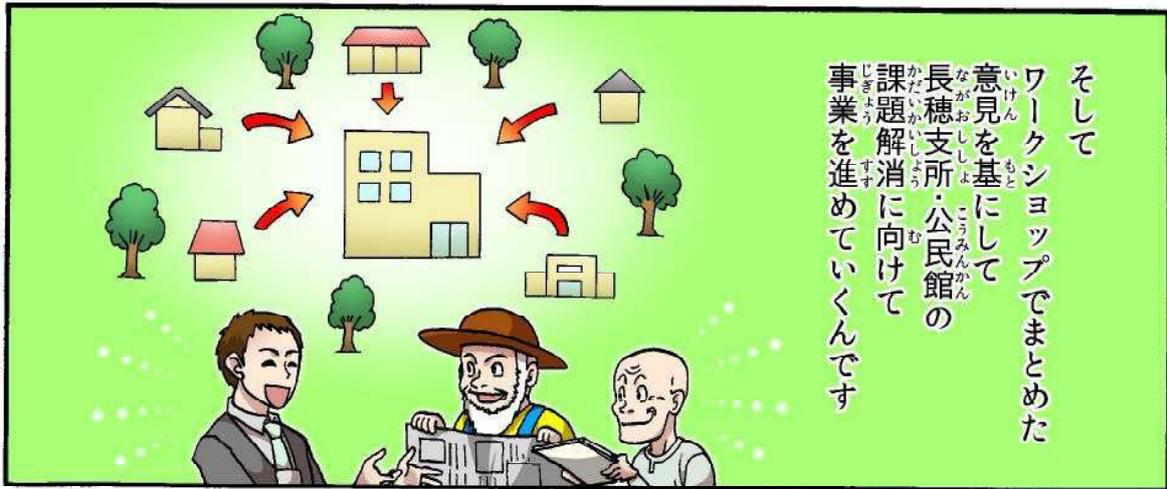
共に。

たがり先生ワークショップってなんですか？

参加者同士が問題点を共有し、認識しながら

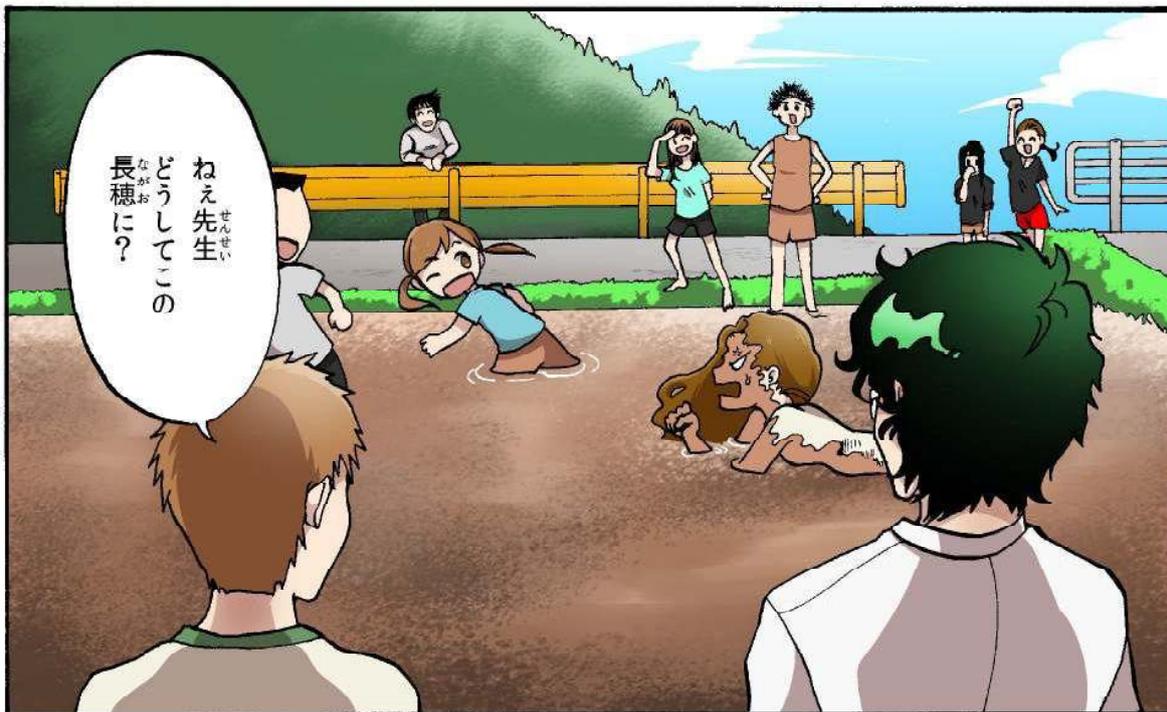
対話により案を作り上げていく方法のことです

ワークショップ

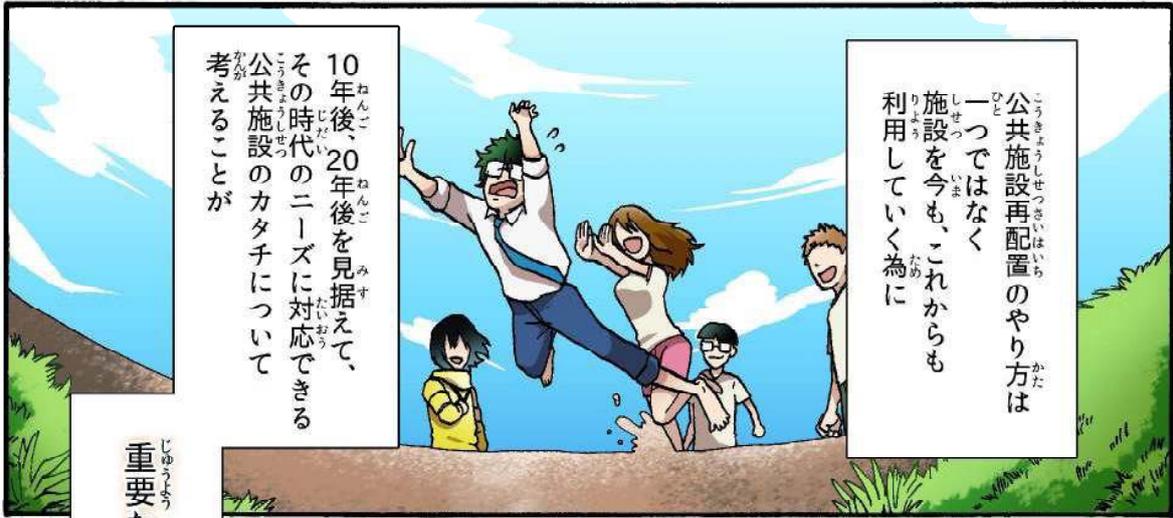












10年後、20年後を見据えて、その時代のニーズに対応できる公共施設のカタチについて考えることが

公共施設再配置のやり方は一つではなく施設を今も、これからも利用していく為に

重要なポイント



そして私たちが「共に。」

地域住民行政

平成27年8月に策定した「公共施設再配置計画」に基づいて、取り組んでいる内容について、市民の皆さまに広く知って頂くためにマンガを作成しました。このマンガが、これからの公共施設について見つめ直す一つのきっかけとなればと願っています。

発行元：周南市政策推進部施設マネジメント課
 問い合わせ：0834-22-8202
 制作協力：YICキャリアデザイン専門学校
 制作作画：アドリエ樹本「大道理マンガ村」
 (切戸章平 原田晃太郎 矢尾聡一朗 坂井月美 小池香菜絵 田中美樹)